

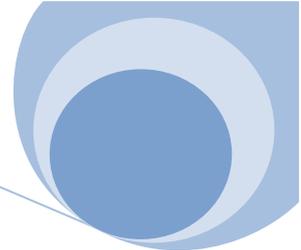
ふるさと学習資料

里山里海湖 学校教育プログラム集

丹南地区周辺体験



福井県里山里海湖研究所



はじめに

1 里山里海湖学校教育プログラムについて

(1) 目的

環境教育は、対象とする分野が非常に多く、地球温暖化対策に関すること、水質や大気・土壌の保全に関すること、循環型社会形成に関すること、自然環境に関することなどがある。また、環境教育を行う対象も、未就学児から大人まで幅広いものとする必要がある。

里山里海湖研究所における環境教育は、「農耕などを通じて、人間が自然環境に関わり続けることにより形成・維持されている自然環境や文化や習俗」について学び・体験することで、福井の里山里海湖を持続可能な形で開発するための人づくりを目的とする。

(2) 里山里海湖研究所における環境教育の内容

ア 里山里海湖の生物多様性を学ぶ

- ①「山」：間伐、植林等の森林経営により保全されている生物多様性、鳥獣害対策を学ぶ
- ②「平地」：農耕により保全されている生物多様性を学ぶ
- ③「海湖」：海や湖からの恵みを楽しむことで保全されている生物多様性を学ぶ
- ④「川」：河川への働きかけにより保全されている生物多様性を学ぶ

イ 里山里海湖と共生する人の営みを学ぶ

- ①「衣」：里山里海湖の恵みを衣服に活かしていることを学ぶ
- ②「食」：里山里海湖から食べ物として多くの恵みを得ていることを学ぶ
- ③「住」：里山里海湖の恵みを活かした住まいの知恵を学ぶ
- ④「習俗」：地域に伝わる里山里海湖の恵みに感謝する行事や生活習慣を学ぶ
- ⑤「伝統の技」：地域に根つき、昔から伝わる自然環境を生かした技術を学ぶ

ウ 里山里海湖の景観を学ぶ

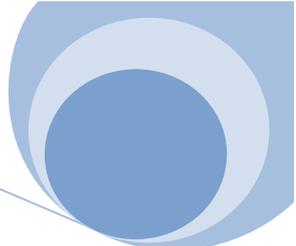
- ①「ふるさと風景」：里山里海湖の景色を、自然環境保全の観点から総合的に学ぶ
- ②「多様性のある風景」：人と生きものとの関わりによって生まれる景色を学ぶ
- ③「人の営みによる風景」：農林水産業に従事する人が生み出す風景を学ぶ
- ④「歴史的風景」：年縞等を育んできた福井県の自然環境を学ぶ

エ 里山里海湖を守るために行動する

- ①「考える」：里山里海湖を素材にした学習を通して、一人一人に何ができるか考える
- ②「行動する」：里山里海湖を守るため活動できる事例を知り、実際に活動する
- ③「発信する」：持続可能な開発のできる里山里海湖であるために、考えや活動を広く知らせる

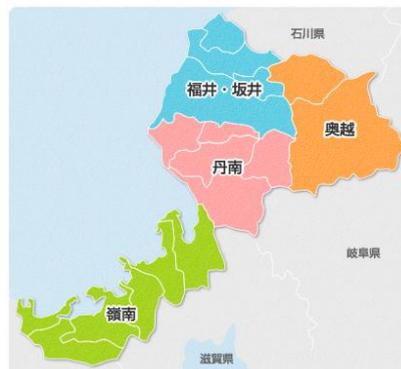
(3) 今回の学校教育プログラム内容

平成26年度は三方五湖周辺、平成27年度は北潟湖周辺および六呂師高原周辺の施設を利用し、里山里海湖の恵みを体験したり、環境保全について参加しながら学習したりする校外体験学習プランを作成した。今回は、丹南周辺の施設を利用した体験プランを作成した。



2 丹南地域について

丹南地域は、福井県中央部に位置し、日野川流域に広がった平野部（盆地）と東西の山間部で構成されている。また、西部は日本海に面し、東部は大野市、岐阜県と境界をなし、山も海もある豊かな自然に恵まれている。「丹南地方」とは、旧越前国の丹生郡・今立郡・南条郡に属する地域を指し、「丹南」とは、丹生郡の「丹」と南条郡の「南」を合成したものである。



この地域は、伝統と先端技術が共存するものづくり地域でもあり、国内シェア9割の眼鏡産地・鯖江市は、繊維や越前漆器のまちでもある。また、越前の国府時代から続く越前市は越前和紙や越前打刃物などの伝統工芸が盛んで、電子・自動車・家電部品産業も多く、県内トップのものづくり王国である。

山に囲まれた池田町は農業と環境の先進地でIターン農業者も多く、西の海沿いには、水仙や花はすが咲き誇る南越前町や越前焼の産地である越前町がある。

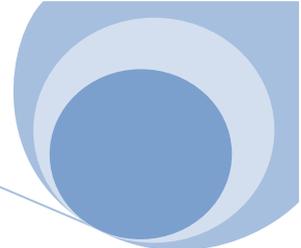
県では、特別天然記念物のコウノトリを自然再生のシンボルと位置づけ、平成23年12月から、兵庫県立コウノトリの郷公園との共同研究として、同公園からつがいのコウノトリ（♂ふっくん、♀さっちゃん）を借り受け、越前市白山地区において飼育・繁殖を行うとともに、福井生まれのコウノトリを野外へ放鳥*し、福井に再びコウノトリが舞う豊かな自然環境の保全・再生を推進している。それと同時に越前市においては、コウノトリとの共生を実現することを目標に、農薬や化学肥料を抑えて、多くの生きものがすめる自然再生活動が行われている。



- *平成27年10月に越前市白山地区において「げんきくん」と「ゆめちゃん」の2羽を、平成28年9月には同市坂口地区で「たからくん」と「さきちゃん」の2羽を放鳥した。

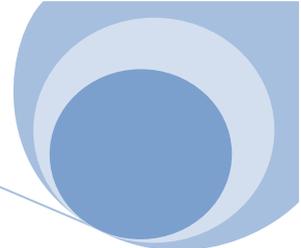
その他にも、今も多様な生物がすむ代表的な地域である「守り伝えたい福井の里地里山30」に選定されている「旧織田町萩野地区（越前町）」、「丹生山地南部（越前町、越前市）」、「三里山（鯖江市、越前市）」、「旧武生市味真野地区（越前市）」など、希少な生きものが生息・生育している貴重な自然が残されており、その保全活動も行われている。





3 本プログラムで取り上げている施設紹介

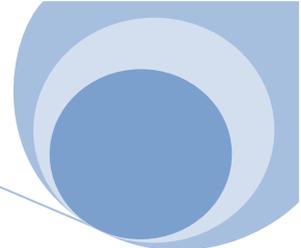
施設名	紹介	連絡先
福井県立 鯖江青年の家 	鯖江青年の家は自然豊かな里地・里山に囲まれた研修施設。 上岡山登山、ウォークラリー、自然観察、星空観察などの野外活動が体験できる。	〒916-0074 鯖江市上野田町 19-1 TEL 0778-62-1214 FAX 0778-62-1215 E-Mail s-seinen@pref.fukui.lg.jp HP http://pref.fukui.jp/doc/sabae-seinen/
しらやまいこ館 ・コウノトリPR館 ・コウノトリ支援本部 	コウノトリの特徴や暮らし方、越前市の取組み、コウノトリとの歴史などをパネル展示やモニターで紹介。	〒915-1204 越前市都辺町 36-84 しらやまいこ館 TEL 0778-28-1400 FAX 0778-28-1400
越前市 エコビレッジ交流センター 	環境学習の拠点施設。 かつてコウノトリが舞い降りたこの地に、再び舞い降り棲みつくような自然と人との豊かな環境づくりをめざす。	〒915-1225 越前市湯谷町 25-25-2 TEL 0778-28-1123 FAX 0778-28-1123 E-Mail info@ecovilg.jp HP http://www.ecovilg.jp/
越前市 八ツ杉森林学習センター 	標高 400～500m、およそ 20ha におよぶ広大な空間に広がっている八ツ杉千年の森では、自然体験や環境学習、生活実習などを行うことができる。	〒915-0225 越前市別印町 19-1-1 TEL 0778-42-3800 FAX 0778-42-3801 E-Mail info@yatsusugi.jp HP http://www.jigyodan-city-echizen.jp/yatsusugi
福井県 森の学舎 (越前町悠久ロマンの杜) 	森林に関するいろいろな情報が展示されている福井県の研修施設。 悠久ロマンの杜は、丹生山地の霊峰「越知山」を望む笈松地区の山腹に位置し、17ha の広大な敷地に様々な施設が整備されている。	〒916-0206 丹生郡越前町笈松 44-3 悠久ロマンの杜管理事務所 TEL 0778-36-2050 HP http://yukyuroman.sakura.ne.jp/index.html
越前町立福井総合植物園 プラントピア 	越前町丹生山地の自然の地形と植生を活かした植物園で、広大な丘陵地に自生、植栽あわせて 3 0 0 0 種以上の植物を見ることができる。	〒916-0146 丹生郡越前町朝日 17-3-1 TEL 0778-34-1120 FAX 0778-34-1120 E-Mail info@fukui-bot.jp HP http://www.fukui-bot.jp/
越前和紙の里 ・パピルス館 ・卯立の工芸館 ・紙の文化博物館 	越前和紙の紙すき体験、伝統工芸士による紙すき、越前和紙の資料展示など、様々な越前和紙の文化に触れることができる。	〒915-0232 越前市新在家 8-44 パピルス館内 TEL 0778-42-1363 FAX 0778-42-2425 HP http://www.echizenwashi.jp/
福井県陶芸館 	越前焼を、見て学ぶ「資料館」、作って楽しむ「陶芸教室」、使って味わう「茶苑」がそろった施設。 「資料館」では越前焼の様々な魅力を紹介、併設された「陶芸教室」では、手ひねり、絵付けなど子供から大人まで作る楽しさを体験できる。	〒916-0273 丹生郡越前町小曾原 120-61 TEL 0778-32-2174 FAX 0778-32-2279 E-Mail info@tougeikan.jp HP http://www.tougeikan.jp/
鯖江市 うるしの里会館 (越前漆器伝統産業館) 	うるしの里会館の回廊式の建物では、木地から加飾まで漆器の製造工程や歴史的資料等が見学できる。 また、漆器のワークショップ体験や貴重な漆芸品・漆器が見学できる。	〒916-1221 鯖江市西袋町 40-1-2 TEL 0778-65-2727 FAX 0778-65-2787 E-Mail info1@echizen.or.jp HP http://www.echizen.or.jp/urushinosatokaikan



4 各施設プログラム一覧

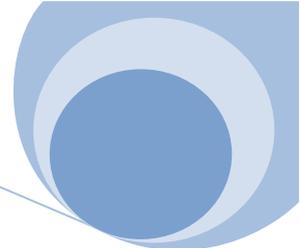
番号	プログラム名	主な内容	頁
		プログラム提供施設名	
丹南①	ネイチャーゲーム	野外や森の中で様々なゲームをし、自然とふれあう。	11
		県立鯖江青年の家	
丹南②	葉脈のしおりづくり	葉脈標本をつくり、植物の体のつくりを学ぶ。	13
		県立鯖江青年の家	
丹南③	コウノトリ放鳥の足跡	コウノトリを通して、自然と人との関わりを学ぶ。	15
		しらやまいこい館	
丹南④	里地里山エコツアー	坂口地区の豊かな自然や生きものを観察する。	17
		越前市エコビレッジ交流センター	
丹南⑤	自然の色・草木染め体験	自然の材料を使った草木染めを体験する。	19
		ハツ杉森林学習センター	
丹南⑥	森林教室	森林および林業について学習する。	21
		森の学舎（悠久ロマンの杜）	
丹南⑦	植物観察	四季折々で変化する植物の様子を観察する。	23
		越前町立福井総合植物園プラントピア	
丹南⑧	紙すき体験	伝統工芸品である「越前和紙」を手すきする。	25
		越前市和紙の里パピルス館	
丹南⑨	陶芸教室「手ひねりコース」	歴史ある「越前焼」を製作する。	27
		福井県陶芸館	
丹南⑩	うるしの里「絵付け体験」	「越前漆器」の絵付け体験をする。	29
		うるしの里会館（鯖江市越前漆器伝統産業会館）	





5 掲載プログラムと教科書との関連

番号	プログラム名	関連教科・領域	教科書単元・小単元名
丹南①	ネイチャーゲーム	生活科 理科	東書「あたらしいせいかつ」 ・なつだ あそぼう など 啓林館「わくわくせいかつ」 ・だいすき なつ など 東書「新しい理科 3」 ・春のしぜんにとび出そう など
丹南②	葉脈のしおりづくり	理科	東書「新しい理科 6」 ・植物のからだのはたらき など 東書「新編 新しい科学 1」 ・植物の体のつくりと働き など
丹南③	コウノトリ放鳥の足跡	理科 社会	東書「新しい理科 6」 ・生き物のくらしと環境 など 東書「新編 新しい科学 3」 ・自然の中の生物 など 東書「新しい社会 3・4下」 ・特色ある地いきと人々のくらし
丹南④	里地里山エコツアー	理科	東書「新しい理科 6」 ・生き物のくらしと環境 など 東書「新編 新しい科学 1」 ・植物の世界 など
丹南⑤	自然の色・草木染め体験	生活科 (総合) (図画工作)	東書「あたらしいせいかつ」 ・つくろう あそぼう など 啓林館「わくわくせいかつ」 ・つくって 見つけて たのしもう など
丹南⑥	森林教室	社会 理科	東書「新しい社会 5下」 ・わたしたちの生活と森林 東書「新しい理科 6」 ・地球に生きる など
丹南⑦	植物観察	理科	東書「新しい理科 5」 ・花から実へ など 東書「新編 新しい科学 1」 ・植物の体のつくりと働き など
丹南⑧	紙すき体験	社会	福井県社会科研究協議会「きょう土の生活」 ・きょう土に伝わるねがい 岩野平三郎と越前和紙 東書「新しい社会 3・4下」 ・特色ある地いきと人々のくらし
丹南⑨	陶芸教室「手ひねりコース」	図画工作 社会	日文「図画工作 5・6上」 ・使って楽しい焼き物 東書「新しい社会 3・4下」 ・特色ある地いきと人々のくらし
丹南⑩	うるしの里「絵付け体験」	社会	東書「新しい社会 3・4下」 ・特色ある地いきと人々のくらし 福井県社会科研究協議会「きょう土の生活」 ・きょう土に伝わるねがい 岩野平三郎と越前和紙



モデルプログラムの例

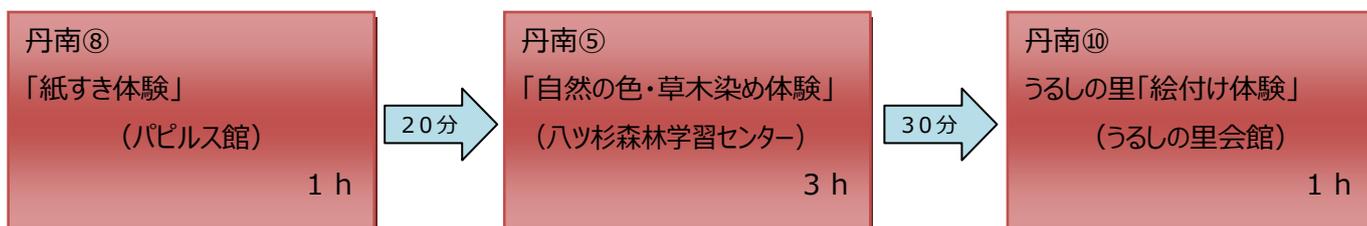
《小学校低学年》

～里山の自然から学ぶ～

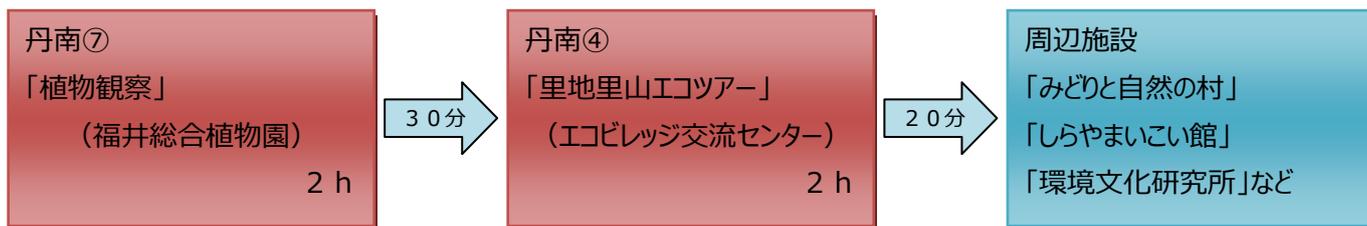


《小学校中学年》

～伝統文化に触れる～

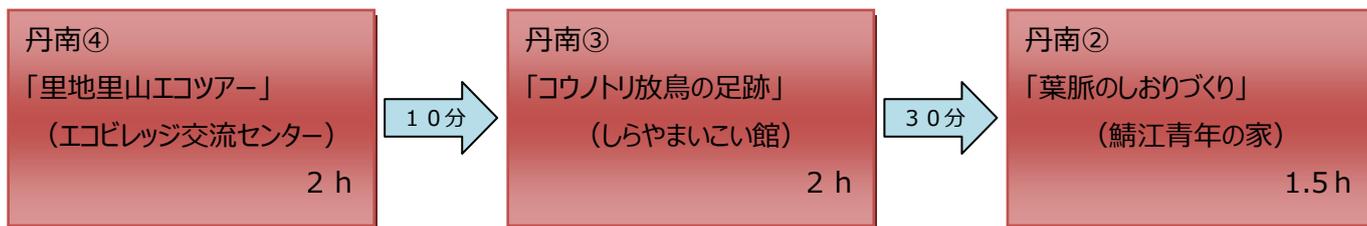


～自然に触れる～

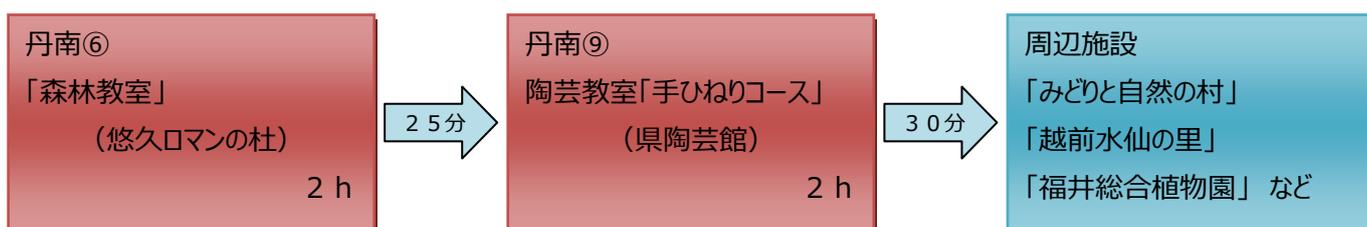


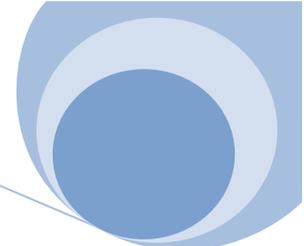
《小学校高学年・中学生》

～人と自然との関わりを考える～



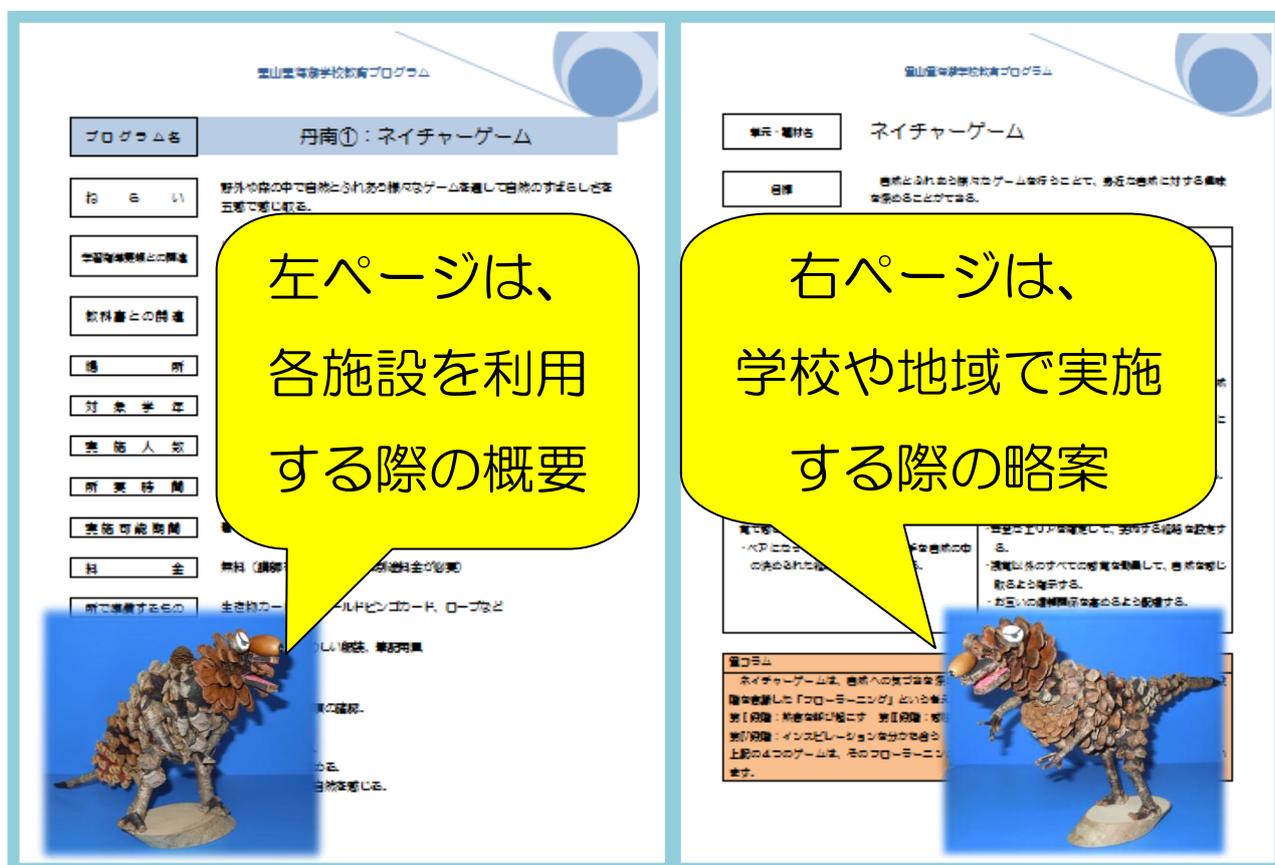
～産業について学ぶ～





6 プログラムの使い方

- 1つのプログラムにつき見開き2ページで構成。
- 左ページは、各施設で実施する概要が、右ページにはそれに則して学校や学校のある地域等で実践する際の略案と里コラムがそれぞれ掲載されている。



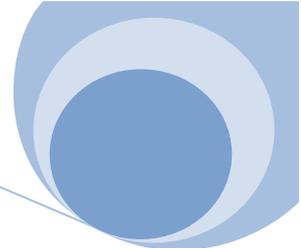
○実際に施設を訪れて、体験学習を実施する場合の流れ

- ① 選択したプログラムの番号、学校名、学年、人数、希望日等必要事項を記入のうえ、FAXまたはEメールにて、里山里海湖研究所まで送付する。
右ページの送付用フォームを、コピーして利用。

送付先：福井県里山里海湖研究所
 FAX 0770-45-3680
 E-Mail satoyama@pref.fukui.lg.jp

- ② 里山里海湖研究所で各施設間の調整をしたのち、1週間ほどで体験スケジュールを作成し、担当者に連絡。
- ③ スケジュールに沿って、体験実施。

※鯖江青年の家での宿泊については、直接青年の家へ連絡してください。



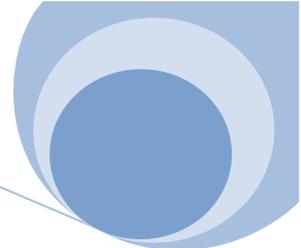
□ 福井県里山里海湖研究所 行 (0770-45-3680)

FAX送信票

学 校 名	
学校住所	〒 福井県
電話番号	
担当者名	
参加学年	
人 数	

実施希望日時		希望プログラム	
第1希望	月 日 () 時 分から 時 分		
第2希望	月 日 () 時 分から 時 分		
第3希望	月 日 () 時 分から 時 分		

<p>その他要望等ございましたら御記入ください。</p>



《参考》

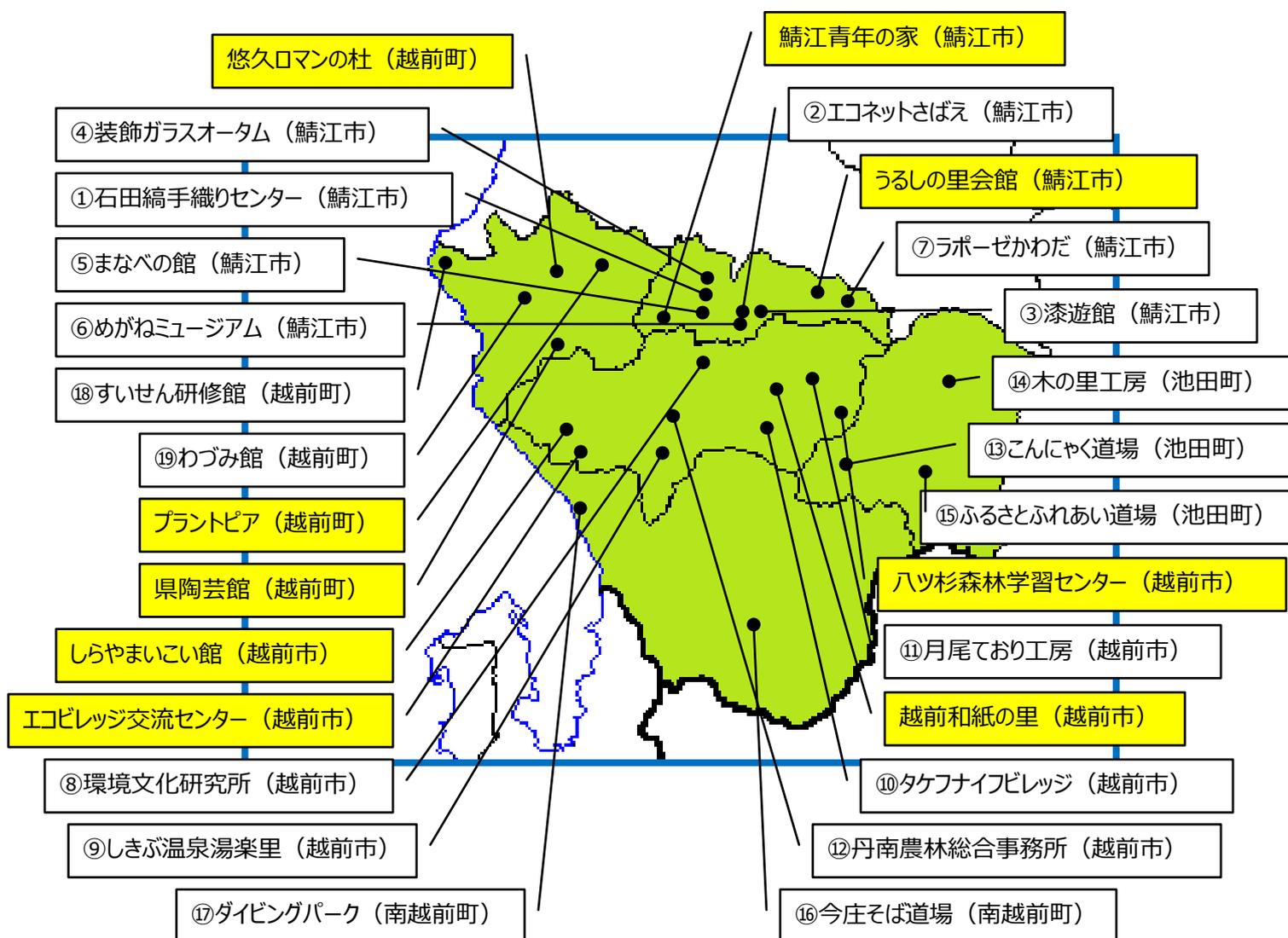
「鯖江青年の家」連携先施設一覧（本プログラム掲載施設は除く）

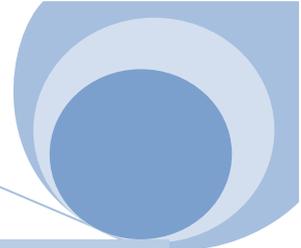
※平成27年2月現在の情報です。御利用の際は各施設に確認してください。

	施設名	学習できる内容	連絡先等
①	石田縞手織りセンター	・石田縞手織り体験 ・コースターづくり	鯖江市糺町 32-1-1 TEL：0778-52-1880 FAX：0778-52-9880
②	エコネットさばえ	・ビオトープ&水辺の生きもの観察 ・ペットボトル顕微鏡 ・わら細工 など	鯖江市中野町 73-11 TEL：0778-52-0050 FAX：0778-52-0909
③	越前塗の漆遊館	・蒔絵体験	鯖江市中野町 256-1 TEL：0778-52-3400 FAX：0778-52-3402
④	装飾ガラスオータム	・ガラスレター体験	鯖江市丸山町 2-8-16 TEL：0778-52-1535 FAX：0778-52-1535
⑤	まなべの館	・鯖江の歴史と文化 ・文楽鑑賞・人形体験 ・近松のパワースポットめぐり	鯖江市長泉寺町 1 丁目 9-20 TEL：0778-51-5999 FAX：0778-54-7123
⑥	めがねミュージアム	・めがねミュージアムの見学 ・オリジナルのストラップづくり	鯖江市新横江 2-3-4 TEL：0778-42-8311 FAX：0778-42-8221
⑦	ラポーゼかわだ	・パン作り ・そば打ち・うどん打ち ・もちつき など	鯖江市上河内町 19-37-2 TEL：0778-65-0012 FAX：0778-65-2761
⑧	環境文化研究所	・川流れ体験 ・水生昆虫採集と観察	越前市国高 2-324-7 TEL：0778-25-6051 FAX：0778-21-3327
⑨	しきぶ温泉 湯楽里	・温泉体験	越前市白崎町 68-8 TEL：0778-42-3800 FAX：0778-42-3801
⑩	タケフナイフピレッジ	・キーホルダー制作教室（メタルコース） ・ペーパーナイフ教室	越前市余川町 22-91 TEL：0778-27-7120 FAX：0778-27-7100
⑪	月尾ており工房	・手織り体験	越前市轟井町 14-11 TEL：0778-42-0193 FAX：0778-42-0270
⑫	福井県丹南農林総合事務所	・間伐・枝打ち見学体験教室（要相談） ・県産材の木工教室（要相談） ・シイタケ駒打ち体験教室	越前市上太田町 41-5 TEL：0778-23-4961 FAX：0778-23-3170
⑬	魚見手作りこんにやく道場	・こんにやく作り体験	今立郡池田町魚見 13-6-1 TEL：0778-44-6268 FAX：0778-44-6268
⑭	木の里工房	・木工体験	今立郡池田町藪田 4-1-1 TEL：0778-44-6270 FAX：0778-44-6270
⑮	ふるさとふれあい道場	・そば打ち体験 ・もちつき体験	今立郡池田町土合皿尾 14-7-1 TEL：0778-44-6878 FAX：0778-44-6878
⑯	今庄そば道場	・そば打ち体験	南条郡南越前町大門 10-3-1 TEL：0778-45-1385 FAX：0778-45-1385

⑰	南越前町ダイビングパーク	・シュノーケリング体験とレクリエーション活動	南条郡南越前町甲楽城 15-28 TEL : 0778-48-3300 FAX : 0778-48-3301
⑱	すいせん研修館	・押し花体験	丹生郡越前町左右 24-2 TEL : 0778-37-2277 FAX : 0778-37-1161
⑲	織田陶房わづみ館	・陶芸教室（製作コース）	丹生郡越前町下河原 37-42-1 TEL : 0778-36-1922

● 詳細については、鯖江青年の家ホームページ等で御確認ください。





プログラム名 **丹南①：ネイチャーゲーム**

ね ら い 野外や森の中で自然とふれあう様々なゲームを通して自然のすばらしさを五感で感じ取る。

学習指導要領との関連 小学校生活 第1. 2学年 主に自分と自然とのかかわりに関すること
小学校理科 第3学年 内容「B 生命・地球」(2) など

教科書との関連 小生活上・下「季節をたのしもう」
小3理科「身近な自然の観察」

場 所 県立鯖江青年の家周辺および上岡山森林ゾーン

対 象 学 年 小学1年生以上

実 施 人 数 30名まで

所 要 時 間 1.5～2時間

実 施 可 能 期 間 春から秋

料 金 無料（講師を依頼する場合は別途料金が必要）

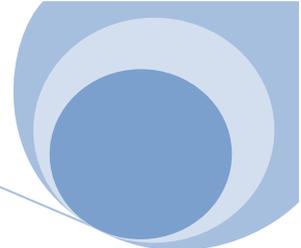
所で準備するもの 生き物カード、フィールドビンゴカード、ロープなど

団 体 準 備 物 野外活動にふさわしい服装、筆記用具

実 施 要 項

- ①ネイチャーゲームについての説明、注意事項の確認。
- ②「動物交差点ゲーム」でアイスブレイク。
- ③「カモフラージュゲーム」で観察力を養う。
- ④「フィールドビンゴゲーム」で観察力を高める。
- ⑤「目隠し歩きゲーム」で視覚以外の感覚で自然を感じる。





単元・題材名

ネイチャーゲーム

目標

自然とふれあう様々なゲームを行うことで、身近な自然に対する興味を深めることができる。

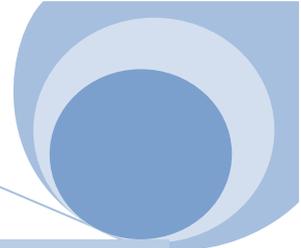
学習活動	留意点等
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自然をからだ全体で感じ取ろう</div>	
<ul style="list-style-type: none"> ○「動物交差点ゲーム」でアイスブレイク。 ・自分の背中につけた生き物のカードに書かれた動物名を周囲の人たちに質問することで名前を当てる。 ○「カモフラージュゲーム」で観察力を養う。 ・自然の草木の中にロープを張り、その周辺に人工物を置き、ロープに沿って自然物と人工物を見分けながらすべての人工物を探す。 ○「フィールドビンゴゲーム」で観察力を高める。 ・木の実や抜け殻など、自然に存在するものを見つけ出し、ビンゴ形式のゲームで競い合う。 ○「目かくし歩きゲーム」で、自然を視覚以外の感覚で感じ取る。 ・ペアになって、目かくしをした相手を自然の中の決められた経路を安全に案内する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○和やかな雰囲気の中で交流することを中心に進行する。 ○人工物は目立つものから分かりにくい物まで自然の草花の中に配置する。 ○動物の擬態や保護色などの仕組みに気づくように配慮する。 ○安全なエリアを指定して、その範囲で探させる。 ○指定された自然物をよく観察させる。 ○安全なエリアを指定して、案内する経路を設定する。 ○視覚以外のすべての感覚を動員して、自然を感じ取るよう指示する。 ○お互いの信頼関係を高めるよう配慮する。

里コラム

ネイチャーゲームは、自然への気づきを深めるために、参加者の心の状態に合わせてながら、次の四段階を意識した「フローラーニング」という考え方によってプログラムを作ります。

第Ⅰ段階：熱意を呼び起こす 第Ⅱ段階：感性を研ぎ澄ます 第Ⅲ段階：自然を直接体験する
第Ⅳ段階：インスピレーションを分かち合う

上記の4つのゲームは、そのフローラーニングに則った活動例で、別のメニューも豊富に用意されています。



プログラム名 **丹南②：葉脈のしおりづくり**

ね ら い 葉脈標本のしおりづくりをとおして、植物の体のつくりとはたらきについて理解を深めることができる。

学習指導要領との関連 小学校理科 第6学年 内容「B 生命・地球」(2) など
中学校理科 〔第2分野〕 内容(1)イ など

教科書との関連 小6理科「いろいろな植物のからだのつくり」
中1理科「葉、茎、根のつくりとはたらき」

場 所 県立鯖江青年の家

対 象 学 年 小学6年生以上(要相談)

実 施 人 数 40名まで

所 要 時 間 1.5時間程度

実 施 可 能 期 間 通年

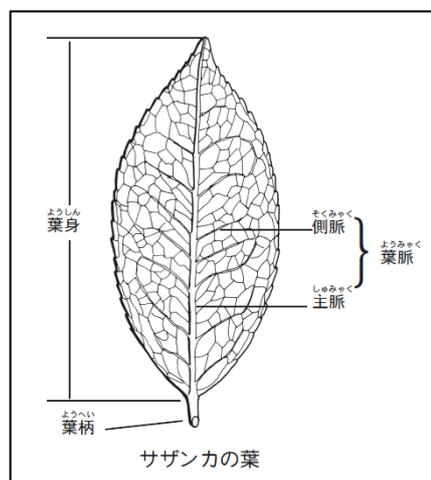
料 金 1人50円

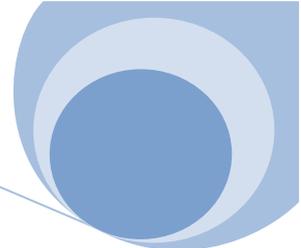
所で準備するもの 葉、水酸化ナトリウム水溶液、酢酸、わりばし、トレイ、歯ブラシ、新聞紙、アイロン、クッキングペーパー、ラミネート機材など

団 体 準 備 物

実 施 要 項

- ①葉を煮る。(所の周囲で採取可。学年や時間に合わせてあらかじめ煮たものを準備しておくことも可)
- ②葉を水洗いする。(あらかじめ準備しておく場合は、この過程まで省略可)
- ③葉肉を歯ブラシでたたいて落とす。
- ④新聞紙、クッキングペーパーに挟んでアイロンをかけ、水分をとる。
- ⑤ラミネートシートに葉脈と和紙を挟み、デザインする。
- ⑥ラミネートし、パンチで穴をあけリボンをつけて完成。





単元・題材名

葉脈標本をつくろう！

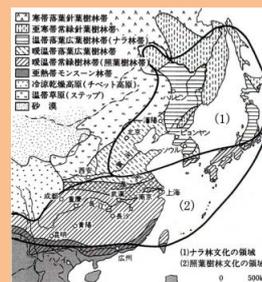
目標

葉の葉肉部分を取り去って葉脈標本をつくり、植物の体のつくりと働きを観察することができる。

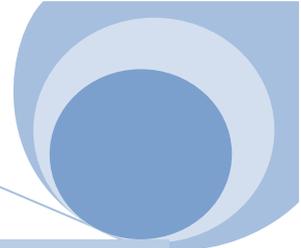
学習活動	留意点等
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">葉脈標本をつくろう！</div>	
<p>○標本づくりをするための植物を選ぶ。 ・ヒイラギ、ツバキ、サザンカなど</p> <p>○沸騰させた 10%水酸化ナトリウム水溶液（+突沸を防ぐための粉末状洗剤）の中に葉を入れ 10～15 分程度加熱する。</p> <div data-bbox="296 974 481 1111" style="text-align: center;">  <p>(ヒイラギの葉)</p> </div> <p>○葉をわりばしなどで取り出し、水を入れた容器に浸して薬品を洗い流すとともに、流水で葉肉を落とす。</p> <p>○葉を新聞紙に乗せ、歯ブラシで軽くたたいて表皮や周囲の組織を落とす。</p> <p>○新聞紙などの間にはさみ 1 日程度乾燥させる。</p>	<p>○葉脈が弱い種類や若い葉では標本作りが難しいため、分厚い照葉樹の葉が適している。</p> <p>○葉の種類や厚さなどによって加熱する時間は異なる。</p> <p>○葉の周囲の組織は高温のアルカリで溶けるが、葉脈部分はセルロースでできておりある程度までアルカリに耐えるため、溶け残った部分が美しい葉脈となる。</p> <p>※水酸化ナトリウムは、強アルカリの薬品のため皮膚につかないよう十分に注意し、もし手などについた場合すぐに水で洗い流すようにする。また、保護めがねを着用させるなどの配慮もする。</p> <p>○こすると葉脈を傷つけてしまうので、たたくように丁寧に作業する。</p> <p>○漂白剤につけ、色を白くしてもよい。</p> <p>○時間がない場合には、新聞紙越しに「中」程度の温度でアイロンをかけてもよい。</p>

里コラム

「照葉樹林文化」と「ナラ林文化」という言葉があります。照葉樹林（カシ、シイ、タブ、クス、ツバキなどの常緑広葉樹）とナラ林（ナラ、ブナ、クリ、カエデなどの落葉広葉樹）の分布地帯には、それぞれに共通する生活文化があるという説です。照葉樹林文化圏は、ネパール・ヒマラヤの高地から中国華南を経て日本南西部につながる比較的温暖な地域で、一方、ナラ林文化圏は、北方の冷涼な地域を指します。日本におけるその境界は、奇しくも、嶺南と嶺北の境界と重なっているように見えます。（図1）。福井県は、照葉樹林文化とナラ林文化が共存する日本海側で唯一の場所であり、このことが、福井県の多様な文化を創り出してきたとも考えられます。



（図1）東アジアの植生とナラ林文化・照葉樹林文化の領域（1993 佐々木高明）



プログラム名 **丹南③：コウノトリ放鳥の足跡**

ね ら い 県が自然再生のシンボルと位置付けている天然記念物のコウノトリの放鳥までの足跡をたどることにより、自然と人との関わりについての理解を深める。

学習指導要領との関連 小学校理科 第6学年 内容B(3)
中学校理科 第2分野 内容(7)ア など

教科書との関連 小6理科「生き物のくらしと環境」、「地球に生きる」
中3理科「地球と私たちの未来のために」

場 所 しらやまいこい館（コウノトリPR館、コウノトリ支援本部）

対 象 学 年 小学1年生以上

実 施 人 数 50名程度まで（それ以上の場合は要相談）

所 要 時 間 1～1.5時間（スケジュールに合わせて対応可）

実 施 可 能 期 間 通年

料 金 無料

所で準備するもの

団 体 準 備 物 筆記用具

実 施 要 項



①職員から説明を聞く。

- ・コウノトリってどんな鳥？
- ・コウノトリがすめる環境とは。
- ・福井県で飼育しているコウノトリ。
- ・放鳥したコウノトリ。

②展示パネル、モニター見学。

③コウノトリ飼育現場見学 ※飼育ケージ付近は立ち入りが制限されています。必ず職員の案内に従ってください。



単元・題材名

自然再生のシンボル「コウノトリ」

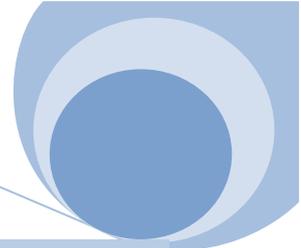
目標

県が自然再生のシンボルと位置付けている天然記念物のコウノトリを通して、自然と人との関わりについての理解を深めることができる。

学習活動	留意点等
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「コウノトリ」について学習しよう！</div>	
<p>○コウノトリはどんな鳥か知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体長 112cm 翼長 2m 体重5kg ・鳴かずに、くちばしを打ち鳴らしてクラッタリングをする。 ・サギ、トキ、ペリカン、ペンギンの仲間に分類される。 <p>○コウノトリの食べ物について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カエル、ドジョウ、ザリガニ、ヘビ、ねずみ、昆虫など。 ・1日約 500g のエサを食べる。 ・ドジョウに換算すると 1日約 80匹。 <p>○コウノトリがすむ環境について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エサがたくさんあるところ。 ・コウノトリのエサになる生きもののエサやすみかがあるところ。 <p>○コウノトリがすめる環境にするにはどうしたらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬を減らす。 ・水路や魚道を作る。 ・中干しの時期をずらす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネコとほぼ同じ体重であるが、その大きさの違いを知る。 ・ツルの仲間ではないことに注意する。 <p>○水田を中心とした里地里山の生態系の頂点にいる生きものであることを押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体重の 1/10 の量を食べることから人間と比較してみるとよい。 ・体重 60kg の人ならば 6kg (ごはん 50 杯分)。 <p>○生態系ピラミッドの頂点にいるコウノトリがすむためには、底辺にあたる生きものなど豊かな生態系の土壌が必要である。</p> <p>○越前市や小浜市などの各団体の取組みや越前市白山地区にある水田魚道や退避溝などについて紹介するとよい。</p>

里コラム

おめでたい絵柄として親しまれている「松上の鶴」ですが、ツルの親指は小さくて上の方にあるので、木にとまることはできませんが、コウノトリは木の上に巣を作ります。よく似た大型の鳥なので昔からよく混同されてきました。昔話の「鶴の恩返し」に出てくる機織りの音も、コウノトリのクラッタリングの音ではないかという説もあります。



プログラム名 **丹南④：里地里山エコツアー**

ね ら い 「にほんの里100選」に選ばれた越前市坂口地区を指導員の案内により散策する中で、豊かな自然や生きものを観察する。

学習指導要領との関連
 小学校生活 第1学年 (5) 季節の変化と生活 など
 小学校理科 第3学年 内容B(1)、(2) 第4学年 内容B(2)
 第5学年 内容B(1) 第6学年 内容B(3)
 中学校理科 第2分野 内容(1)

教科書との関連
 小6理科「生き物のくらしと環境」 ほか
 中1理科「植物の世界」 ほか

場 所 越前市エコビレッジ交流センター周辺

対 象 学 年 小学1年生以上

実 施 人 数 人数制限なし

所 要 時 間 1～3時間程度

実 施 可 能 期 間 通年

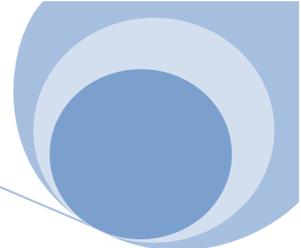
料 金 無料

所で準備するもの
 指導員2名（参加人数が多数となる場合は、指導員の追加が可能、ただし3名からは実費が必要）

団 体 準 備 物
 野外活動にふさわしい服装、タオル、帽子、水筒、雨具
 （内容により長袖、長ズボン）

- 実 施 要 項
- ①指導員に自然豊かで多くの生きものが生息する坂口地区の説明を聞く。
 - ②指導員に観察方法について説明を聞く。
 - ③散策し、生きものを観察する。
 - ④生きものの観察を通して、生きもののつながりと命の大切さをまとめる。





単元・題材名

里地里山の生きものの観察

目標

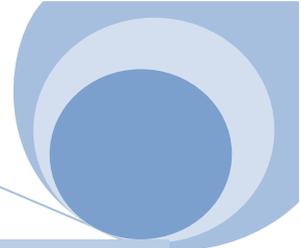
豊かな自然の中で生息する多くの生きものを観察し、自然のしくみや命の大切さについて学ぶことができる。

学習活動	留意点等
<p>季節に合わせた生き物の観察によって、自然のしくみや命の大切さを学ぼう</p>	
<p>○「にほんの里100選」に選ばれた越前市坂口地区の自然について知る。</p>  <p>○生きもの観察のポイントについて学ぶ。</p> <p>○散策しながら生きものを観察する。</p> <p>○観察を通して、生きものの命を感じ、自然のしくみについて知る。</p>	<p>○きれいな空気、きれいな水に包まれた、美しい里山風景が残る地区。</p> <p>○希少生物であるアベサンショウウオなどが生息している。</p> <p>○季節に応じて観察する生きものを工夫する。</p> <p>○危険な場所、危険な生きものには近づかない。</p> <p>○活動時間によりコースを設定する。</p> <p>○里山を眺めながら、ゆったりと観察させる。</p> <p>○希少生物の観察・採集に気を付ける。</p> <p>○生きものが生息するためには、生きものと生きものつながり（食物連鎖）が大切であることを押さえる。</p> 

里コラム

「にほんの里100選」は、人の営みが育んだすこやかで美しい里を全国から100か所選んだもの。対象となった里は、集落とその周辺の田畑や草地、海辺や水辺、里山などの自然からなる地域で、広さに関わらず、人の営みがつくった景観がひとまとまりになった地域を一つの里としてとらえられています。全国2,000地点以上の候補地の中から、「景観」「生物多様性」「人の営み」を基準に現地を調査し、2009年「100選」が発表されました。

福井県内では、越前市の白山・坂口地区と若狭町、美浜町にまたがる三方五湖周辺の2か所が選ばれています。



プログラム名 **丹南⑤：自然の色・草木染め体験**

ね ら い 山野の草木から色素を煎じ出し、自然の色で布を染め上げることで、昔の人々の知恵に関心を持つことができる。

学習指導要領との関連 小学校生活 第1学年 (5) 季節の変化と生活 など
小学校総合的な学習の時間

教科書との関連 小1生活「つくろう あそぼう」
「つくって 見つけて たのしもう」 ほか

場 所 ハツ杉森林学習センター

対 象 学 年 小学1年生以上

実 施 人 数 人数制限なし

所 要 時 間 3時間程度

実 施 可 能 期 間 通年

料 金 1回(3時間) 指導料1万円+薪・道具使用料

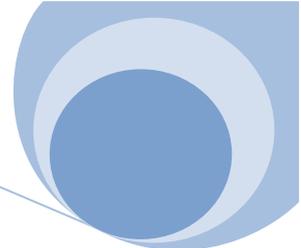
所で準備するもの 草木染めに必要な鍋

団 体 準 備 物 染める布類(絹もしくは木綿など天然繊維に限る)



実 施 要 項

- ①草木染めについて説明を聞く。
- ②ヨモギやドクダミ、クズなどの草木を集め染色液を作る。
- ③持参した布を輪ゴムなどで縛る。
- ④染色液の入った鍋に布を入れて煮る。(染色・媒染)
- ⑤布を水でよく洗い、日陰で干す。



単元・題材名

草木染めをしよう

目標

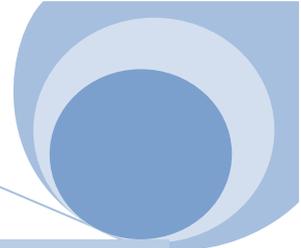
自然の材料を用いて布を染めることができる草木染めの手法を知り、意欲的に取り組むことができる。

学習活動	留意点等
<p>○布の前処理（下地づけ）をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆乳に30分浸漬後、影干しする。 	<p>○木綿などの植物繊維は染まりにくいので、たんぱく質をつけて染まりやすくする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">草木染めをしよう！</div>	
<p>○絞り方を工夫して、模様をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪ゴムでしばる。→同心円のような模様。 ・折ってしばる。→幾何学的な模様。 <p>○染色液を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・染料をネット等に入れ、鍋で煮出す。 ・一度ざるでこし、再び鍋に戻す。 <p>○染めたい素材を鍋に入れて、10分程度煮た後、素材を取り出す。</p> <p>○媒染する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・染色液にみょうばんを混ぜ、再度素材を入れる。 <p>○1時間ほど置いたら、流水でよく洗い、風通しの良い日陰で干す。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>○例示品を見せてイメージをつかませるとともに、どのような模様に来上がるか想像させながら作業をさせる。</p> <p>○染料は、できるだけ自分たちで集めてきた枯れ葉や花、実などを利用し、どのような色に染まるかを想像させながら作業させる。</p> <p>○取り出す際には、ゴム手袋を着用させ、菜箸などを使って取り出させる。</p> <p>○布などの繊維内部に入り込んだ染料を固定させ、化学反応によって発色させる。</p> <p>○模様づけのためにしばった輪ゴムなどは外すようにする。</p> <p>○出来上がった色や模様について感じたことを発表させるとよい。</p>

里コラム

草木染めではいろいろな植物が染料として使われます。要注意外来生物に指定されているセイタカアワダチソウもその一つです。セイタカアワダチソウの花穂を煮出した染液で布を染めると、鮮やかな黄色になります。また、葉や茎を使うと緑色に染まります。繁殖力が強く、自生の植物を凌駕してしまうため、各地で駆除活動も行われているセイタカアワダチソウですが、そうした活動に併せて「セイタカアワダチソウ染め」を体験してみたいはいかがでしょうか。





プログラム名 **丹南⑥：森林教室**

ね ら い ふるさとの美しい自然環境の中で、森林および林業についての知見を深める。

学習指導要領との関連 小学校社会 第5学年 内容(1)エ
小学校理科 第6学年 内容「B 生命・地球」

教科書との関連 小5社会「わたしたちの生活と森林」
小6理科「地球に生きる」

場 所 もりの学園（悠久ロマンの杜内森の学舎）

対 象 学 年 小学1年生以上

実 施 人 数 50名程度

所 要 時 間 0.5時間～

実 施 可 能 期 間 通年

料 金 見学・施設使用は無料、その他体験の内容によって実費負担

所で準備するもの 体験の内容によって異なる

団 体 準 備 物 季節に合わせた服装、筆記用具、水筒など

実 施 要 項

- ①展示ホール自由見学。
- ②情報コーナー、図書コーナー等で木と森についての学習。
- ※その他、木工体験、林業体験などについては要相談。

そ の 他

悠久ロマンの杜には、茅葺屋根の古民家やそば打ち体験ができるそば道場をはじめ、バーベキュー施設や、宿泊用コテージなど里山のくらしを体験できる施設がいろいろとそろっています。

また、間伐・枝打ちなどの林業体験・見学や薪割り体験なども、学校からの要望によって今後実施していく予定です。





単元・題材名

里山の資源循環

目標

炭を通して自然界の物質循環でつくられたエネルギーを生活に利用していた文化にふれ、理解することができる。

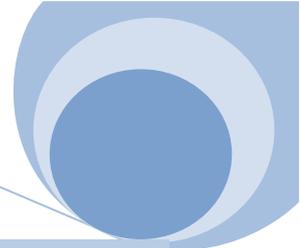
学習活動	留意点等
<p>○森を手入れせずに放置しておくとうなるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草が生える。 ・自然に戻る。 	<p>○自然に任せて森を放置すると、短期的には様々な植物が繁茂するが、長期的にみると日光不足や病気、土壌流失などにより樹木が生育できない環境になる可能性がある。</p>
<p>里山の資源循環を知ろう！</p>	
<p>○里山での資源利用の現状を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉をたい肥として活用。 ・伐採した材をシイタケのほだ木や薪、木炭として活用。 <p>○樹木のエネルギーを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木炭や薪を燃やしても地球温暖化の原因にはならない。 ・コナラやクヌギは、伐採した切り株から新しい芽が出てやがて成長していく。 ・木を切ることによって、自然エネルギーを循環させている。 <p>○燃料以外の炭の特性について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化作用、防湿作用、防臭作用がある。 	<p>○これらは、燃料革命（ガス、電気、石油）や化学肥料に普及により、ほとんど利用されなくなっており、里山自体の維持が難しくなっている。</p> <p>○木炭を燃焼させたとき排出される二酸化炭素は樹木が成長過程で吸収した二酸化炭素であることから地球温暖化の原因とは考えない。地球温暖化の原因は、石油や石炭などの化石燃料であるといわれる。（カーボンニュートラル）</p> <p>○実際に花炭を焼く体験をしてもよい。</p> <p>○炭には、細かい穴があり、その穴に悪臭や汚れの原因となる物質が入るので、消臭や空気の浄化作用がある。</p>

里コラム

樹木が吸収しているおおまかな二酸化炭素量は、次のような計算式で求めることができます。

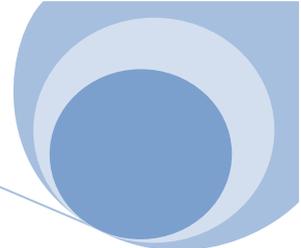
$$\text{二酸化炭素量} = \text{樹木の体積} (\text{幹を円錐と考え、断面積} \times \text{高さ} \div 3) \times \text{2} (\text{枝・根の体積を幹の2倍と想定}) \times \text{容積密度} (\text{広葉樹の場合 } 490\text{kg/m}^3 \text{ 針葉樹の場合 } 370\text{kg/m}^3) \times \text{0.5} (\text{炭素含有率}) \times \text{3.6} (\text{炭素量の3.6倍が二酸化炭素量})$$

これを用いて校庭などの樹木の二酸化炭素量を計算し、国民一人当たりの年間二酸化炭素排出量約10tと比較させることで、いかにたくさんの二酸化炭素を人間が排出しているか考えさせることができます。



プログラム名	丹南⑦：植物観察	
ね ら い	四季折々で変化する植物の様子を観察することで、福井の豊かな自然を感じ、植物を科学的な視点で観察することができる。	
学習指導要領との関連	小学校理科 第3・4・5・6学年 内容「B 生命・地球」 中学校理科 菜2分野 内容（1）、（5）、（7）	
教科書との関連	小3理科「身近な自然の観察」小4理科「季節と自然」 小5理科「植物の発芽、成長、結実」 中1理科「植物の体のつくりと働き」「植物の仲間」「生物の観察」 中3理科「生物の成長と殖え方」「生物と環境」	
場 所	越前町立福井総合植物園プラントピア	
対 象 学 年	小学1年生以上	
実 施 人 数	30～40名（映像ホール定員60名）	
所 要 時 間	1～2時間	
実施可能期間	通年	
料 金	入園料：一般 300（270）円 中学・高校生 200（180）円 小学生 100（90）円 幼児無料 ※（）は30名以上の団体料金 資料代（要相談）	
所で準備するもの	資料	
団 体 準 備 物	季節に合わせた服装、筆記用具、水筒など	
実 施 要 項	①職員による説明。 ②園内観察ポイントによる植物学習。 ③振り返り。	





単元・題材名

植物観察

目標

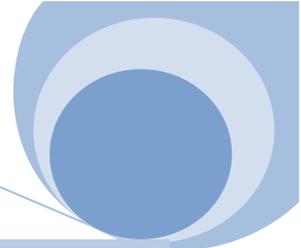
植物観察を通じて、四季の変化や植物の多様性を知ることができる。

学習活動	留意点等
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">植物ウォークラリーに挑戦しよう！</div>	
<p>○園内マップに示された植物の外観や特徴を知る。</p> <p>○園内マップをもとに散策し、指定された植物を見つめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物の大きさ。 ・花の色、形、香り。 ・葉の色、形、つきかた など。 <p>実際の植物の特徴を自分の感覚で観察し、記録する。</p> <p>○まとめ 感想を記入する。</p>	<p>○四季に応じて特徴的な植物をリストアップする。</p> <p>○散策経路を支持し、安全に配慮する。</p> <p>○植物の保全についての注意を徹底する。</p> <p>○グループ活動として行うことも有効である。</p> <p>○児童生徒の完成を重視し、感じたままの記述ができるようにする。</p> <div data-bbox="928 1104 1294 1341" style="text-align: center;"> </div> <p>○ふるさとの多様な自然を感じ、環境保全の意識が喚起されるよう指導する。</p>

里コラム

福井県の維管束植物はこれまでに、約 2700 分類群（種、亜種、変種を含む）が確認されているといわれています。2012 年から 2014 年にかけて行われた調査で、県域絶滅として 20 種類、県絶滅危惧Ⅰ類 235 種類、県絶滅危惧Ⅱ類 199 種類、県準絶滅危惧 119 種類、要注目 158 種類の計 731 種類が福井県レッドリストに掲載されています。過疎化・高齢化が深刻な山村での里地里山の管理放棄は拡大しており、二次的環境の保全がますます困難になっています。また、地球温暖化の影響も表れ始めているといわれており、亜高山・高山植物など冷涼な環境に生育する植物への影響が懸念され、積雪の減少によるシカ・イノシシの増加・分布拡大は農林業地だけでなく、自然植生にも被害を与えているといわれています。

「改訂版福井県の絶滅のおそれのある野生動植物 2016（福井県安全環境部自然環境課発行）」より引用



プログラム名 **丹南⑧：紙すき体験**

ね ら い 豊かな環境の中で育まれてきた伝統工芸「越前和紙」に実際にふれることで、自然の豊かさや大切さ、そこから生まれたすばらしい技術と製品を体感する。

学習指導要領との関連 小学校社会 第3・4学年 内容(5)ウ (6)ウ

教科書との関連 小4社会 「きょう土につたわるねがい 岩野平三郎と越前和紙」

場 所 パピルス館

対 象 学 年 幼稚園以上

実 施 人 数 80名まで

所 要 時 間 1時間

実施可能期間 通年

料 金 体験料金 色紙判：500円、はがき判：800円（4枚どり） など

施設で準備するもの 紙すき体験道具一式

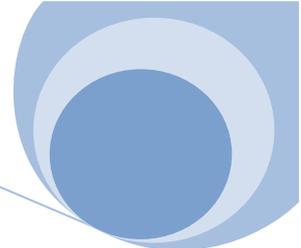
団 体 準 備 物 タオル

実 施 要 項

- ①越前和紙の概要を聞く。
- ②桁と呼ばれる道具に原料をくみ、均一になるようにすく。
- ③押し花や染料などで好みの柄をデザインする。
- ④余分な水分をしぼり取る。
- ⑤10分ほど乾燥させて完成。



《その他》
 パピルス館での「紙すき体験」のほかに、和紙の里には、伝統工芸士による和紙作りを見学できる「卯立の工芸館」や越前和紙の歴史を学ぶことができる「紙の文化博物館」などもあります。
 入館料：卯立の工芸館・紙の文化博物館共通 大人200円（150円）小中生100円（50円）
 （ ）内15名以上団体料金



単元・題材名

地域の伝統「祭り」を調べよう！

目標

地域に伝わる伝統文化の1つである祭りを調べることにより、地域への愛着心や郷土愛を育む。

学習活動	留意点等
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">地域に伝わる祭りを調べよう！</div>	
<p>○地域に伝わる祭りで、どのようなことが行われているか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋台や出店がある。 ・神楽や獅子舞がある。 ・神輿や山車が出る。 <p>○祭りがいつごろから何のために行われているかを調べる。</p> <p>《方法例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮司や氏子総代の方に聞く。 ・郷土史で調べる。 ・郷土史家や役所の人に聞く。 ・祖父母や地域の人に聞く。 <p>○祭りに関わっている人の思いを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りに参加している人の話を聞く。 <p>○伝統を守り継承するための工夫や努力について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の伝統文化を継承する担い手の減少。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りへの参加資格の緩和。 ・しきたりの拡大解釈 など。 	<p>○祭りの様子がわかる写真や映像などを見せるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な祭りがない地域においては、ひな祭りや端午の節句、七夕などの年中行事について調べてもよい。 <p>○地域の氏神で行われている祭りは、その地域の産業と深いつながりがあり、また家内安全や無病息災を祈るためのもので、自分たちの生活に大きく関係しているものであることに気付かせる。</p> <p>○獅子舞や神楽など実際に体験できると、祭りへの興味関心が増す。</p> <p>○練習などの大変さよりも楽しさややりがいを感じさせられるように配慮する。</p> <p>○担い手が減少している理由としては、過疎化・高齢化の進行による地域社会の構成員そのものの減少、日常のライフスタイルの変化や多様化、農家と非農家（新たな住民）の混在などが挙げられる。</p> <p>○話を聞きながら、自分たちも受け継いでいこうとする心情を育む。</p>

里コラム

「晴れの舞台」、「晴れ姿」、「晴れ着」など特別な場面や非日常的なことを表す「ハレ」という言葉は、日本人が、農林漁業の営みや季節の移り変わりとともに、祭りや年中行事などの非日常の行事「ハレ」と日常生活「ケ」を1年のうちにリズムを持って繰り返してきたという考え方に由来しています。子供たちの目に見えやすい「ハレ」の部分をつきかき、日常の衣食住など生活全般に関わりながら、見えにくい「ケ」の部分にある先人たちの作法や技術等についても伝承していきたいものです。



プログラム名 **丹南⑨：陶芸教室「手ひねりコース」**

ね ら い 平安末期より焼き継がれてきた歴史ある越前焼を体験し、理解を深める。

学習指導要領との関連 小学校図工 第5・6学年 (2)イ

教科書との関連 小5・6図工 上 「使って楽しい焼き物」

場 所 福井県陶芸館

対 象 学 年 幼稚園以上

実 施 人 数 100名まで

所 要 時 間 2～4時間

実施可能期間 通年

料 金 1,200円(粘土1kg) 作品を送付してもらう場合は送料代別途(着払い)

所で準備するもの 粘土、へら、手ひねり用のろくろ等の道具一式

団 体 準 備 物 事前にデザインを決めておくと製作時間を長くとることができる。



実 施 要 項

- ①越前焼の概要を聞く。
- ②作品の作り方や注意点を聞く。
- ③自分が作りたい焼き物の構想を練る。
- ④各自作品を作る。
- ⑤後始末をする。
- ⑥作成した作品は、職員が窯焼きして完成させてくれるので、後日取りに行くか、学校へ送付してもらう。



《その他》
「手ひねりコース」以外に、湯飲み(500円)や茶碗(800円)等に絵付けをする「絵付けコース」もあります。



単元・題材名

福井県陶芸館の陶芸教室「手ひねりコース」

目標

手ひねりを体験する中で、年度の特徴や完成した作品の用途などを考えながら、作品を作ることができる。

県内には陶芸を体験することができる施設がいくつもあります。地域の施設を利用し、手ひねりを体験します。ここでは福井県陶芸館で実施する例を取り上げています。

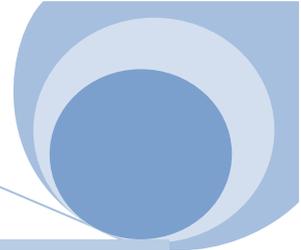
学習活動	留意点等
<p>○平安末期より焼き継がれてきた越前焼の歴史や、越前陶芸村、福井県陶芸館等について知る。</p> <p>○作品の作り方や注意点を聞く。</p>	<p>○事前に何を作るか、各自で構想を練り、デザイン画にまとめておくと、製作時間を長くとることができる。</p> <p>○福井県陶芸館の職員による説明。</p> <p>○福井県陶芸館の職員による説明。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">越前焼を作ろう</div>	
<p>○何を作るか、どのようなデザインにするのか考える。</p> <p>○粘土を使って、作品作りをする。</p> <p>○作った作品が自分のものだと分かるように裏側に印をつけておく。</p>	<p>○事前に学校でデザイン画を描いてある場合は省略可能。</p> <p>○必要に応じて、陶芸館の職員にアドバイスして頂く。</p> <p>○作品は、後日職員が素焼き後、釉薬をかけて本焼きし完成。</p>

※「手ひねりコース」以外に、湯飲みや茶碗等に絵付けする「絵付けコース」もあります。

里コラム

越前焼は、備前焼、常滑焼、瀬戸焼、丹波焼とともに、日本六古窯の一つに数えられ、昭和 61 年に国より伝統工芸品として指定されています。その始まりは、今から約 850 年前の平安末期までさかのぼります。

越前の土の特色を生かした、素朴で頑丈なづくりが特徴で、日常生活で使われる実用的な焼き物として重宝されてきました。昭和 46 年に越前焼の振興を目的として越前陶芸村がつくられ、陶芸館もこのとき開館しました。現在の陶芸館は平成 21 年にリニューアルオープンしています。



プログラム名 **丹南⑩：うるしの里「絵付け体験」**

ね ら い 1500年の歴史があるといわれる越前漆器の絵付けを体験し、伝統的な工芸に対する理解を深める。

学習指導要領との関連 小学校社会 第3・4学年 内容(5)ウ (6)ウ

教科書との関連 小3・4社会 下 「特色ある地いきと人々の暮らし」

場 所 鯖江市伝統産業会館 うるしの里会館

対 象 学 年 幼稚園以上

実 施 人 数 2名以上

所 要 時 間 1時間程度

実 施 可 能 期 間 通年

料 金 1,500円/人(絵付け体験素材1つ分を含む)

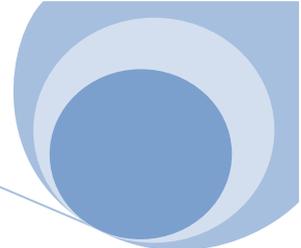
所で準備するもの 絵付け体験素材(お椀・写真立て・コーヒートレー・手鏡・ミニ手鏡の中から1つ選択)、絵付け用の道具一式

団 体 準 備 物 事前にデザインを決めておくと製作時間を長くとることができる。

実 施 要 項

- ①越前漆器の概要を聞く。
- ②作品の作り方や注意点を聞く。
- ③自分が描きたい作品の構想を練る。(自由に描くことも、絵型から絵柄を選ぶこともできる。)
- ④各自作品を作る。
- ⑤後始末をする。
- ⑥館内展示物を見学する。

《その他》
「絵付け体験」以外に、沈金刀で素材に模様を描く「沈金体験」(2,000円/2,500円)、木地の素材に生漆を塗り拭きする「拭き漆体験」(1,500円/2,500円)もあります。



単元・題材名

伝統的工芸品紹介パンフレットを つくろう！（導入）

目標

身のまわりの伝統的工芸品に関心を持ち、紹介パンフレット作製を目標として学習課題を設定することができる。

県内には伝統的工芸品に指定されている工芸品が7品目あります（下の里コラム参照）。ここでは越前漆器についての体験・見学をするときの例を取り上げています。実際に体験・見学するものに合わせて、内容を置き換えて実施することもできます。

学習活動	留意点等
<p>○自分たちの身の回りにある塗り物（お椀や皿、お盆など）を持ち寄り、感想や疑問を発表しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材 ・色、模様 ・手触り など <p>○伝統的工芸品の1つに越前漆器があることを知る。</p>	<p>○児童・生徒によっては、塗り物（漆器）にあまりなじみがなく、どのようなものかわからないことも想定されるので、家庭に協力を求めるようにするとよい。</p> <p>○できれば伝統工芸品のマークがついた越前漆器の実物を提示する。</p>
<p>越前漆器を紹介するパンフレットを作ろう</p>	
<p>○パンフレットに掲載する内容を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前漆器の特徴 ・作り方や材料 ・職人の工夫や努力 ・歴史 ・製品の種類 など <p>○体験・見学メモをつくる。</p>	<p>○他の伝統的工芸品を紹介するパンフレット（ホームページなどからダウンロード可能）を配布し、どのような内容が掲載されているか参考にさせると話し合いがスムーズに進む。</p> <p>○製品の紹介にとどまらず、それを製作している職人の思いにも触れるよう助言するとよい。</p> <p>○体験・見学の際、主体的な学びとなるよう学習課題や予想をまとめ、観点を明確にさせておく。</p>

里コラム

福井県には、経済産業大臣指定の伝統的工芸品として、越前漆器、越前和紙、若狭めのう細工、若狭塗、越前打刃物、越前焼および越前筆等の7品目があります。また、これら以外にも、福井県の風土と暮らしの中で育まれてきた手づくりの優れた工芸品22品目が「福井県郷土工芸品」として指定されています。詳細は福井県のホームページで紹介されています。

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/chisangi/dentoukougeihin.html>

ふるさと学習資料

里山里海湖学校教育プログラム
～丹南地区周辺体験～

◇発行◇ 平成29年3月

◇編集協力者◇ 川上 純朗 (宝永小学校 校長)

清水 博之 (三宅小学校 校長)

金鑄 善朗 (福井県教育庁 義務教育課 指導主事)

西 輝憲 (福井県教育研究所 調査研究部 研究員)

北村 徹 (嶺南教育事務所 指導相談課 主任)

土橋 佳久 (福井県里山里海湖研究所 研究事務員)

小嶋 明男 (福井県里山里海湖研究所 相談員)

研究所は、「県民のため、社会のため、実社会に役立つ研究を行い、美しい風土を残しながら福井という地域のみんなが元気になる」ことを目指します。

福井県里山里海湖研究所

〒919-1331

福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-31-1

TEL 0770-45-3580

FAX 0770-45-3680

E-Mail satoyama@pref.fukui.lg.jp

